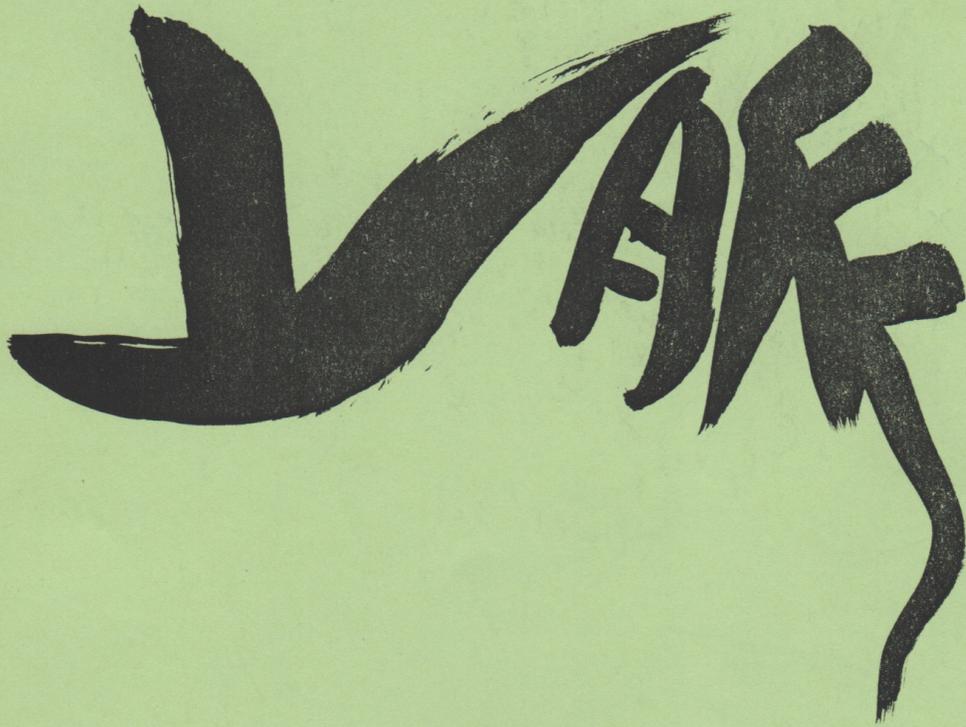


武神館伝書



第八号



平成七年七月七日発行

## 山 やまびこ 彦

現在の私は天馬に乗って世界を馳せている。三十数年前の或る日、高松先生が「初見はん、修業というものは虫になれないとあきまへんな。修業とは馬の尻尾につかまった虫になることや。そないすれば、馬と一緒に速う千里をいけるもんやで……。」と、煙草の煙の先に見えた高松先生のお姿が今でも昨日のように想い出されるのである。

修業の過程において、苦しいこと、辛いことはあたりまえのことですが、それより恐ろしいことは、修業中に欲望と感情に捕われた時である。高段者になってもこれに捕われると、武道家の心は失われ、武道の道からはずれ、知らず知らず邪道を歩く自分の姿に気付かないものである。高松先生の言われた馬の尻尾ということは、馬の失保（しっぽ）の虚実二字なのでしょう。尻尾を離すと道を失うということなのです。虫がつかまっている姿、これは精子が人間になろうという努力と思っても良いでしょう。武道家になろうとする修業の姿と見ても良いでしょう。武道問答というものには、虚実があり、真理があり、悟りへの誘導語があるのです。例えば、師言「千里を行けるのや!!」これは千里は距離言ではなく、せんりを閃理（せんり）、戦利（せんり）、兵法、忍法、武門、そして、武門と宗門、虚実、即ち巨実（きょじつ）、偉大なるということになるのですね。佛教、禪には禪問答があるように、武道にも武問答が存在するのである。

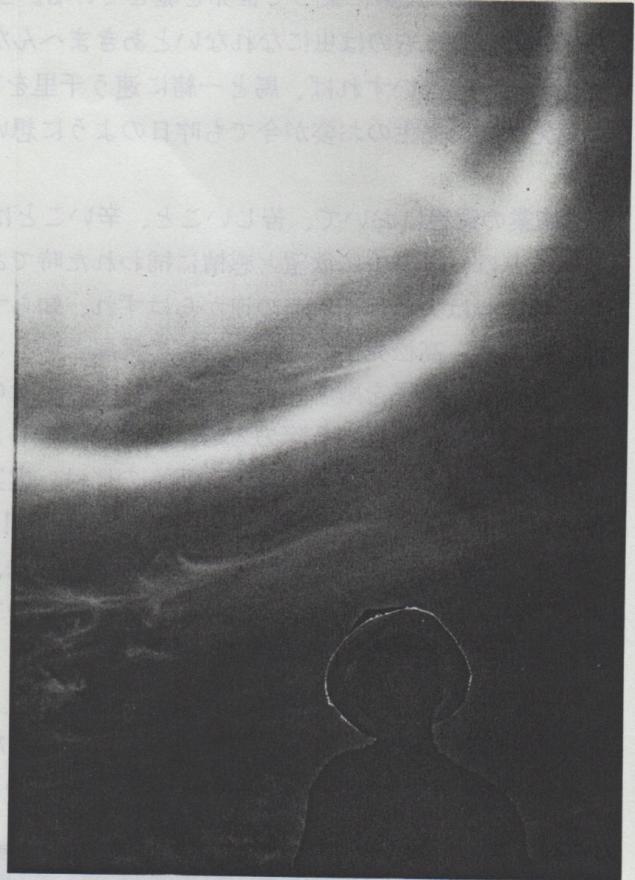
先に天馬に乗って世界を馳せる私といいましたが、私は天馬の背に私の肉体は乗せていても、我が心は虫にして馬の尻尾につかまっているのである。



当時の宗家の足跡：昭和三十九年（1964年）「すてきなママ!!」という夏休み二ヶ月間の子供番組があり、宗家はレギュラーとして出演いたしました。この番組には松山善三さん（映画監督）、高峰秀子さん（女優）、中村汀女さん（俳人）、近江俊郎さん（映画監督、歌手）、ダークダックスなどが出演しておりました。写真：「すてきなママ!!」出演中の宗家。左から、小森和子さん（映画評論家）、宗家、仲曾根美樹さん（歌手）、水野晴郎さん（映画評論家）。

## 武道体術について

聖なる輪、和と書いた方が良いでしょうか、アリゾナ州のツーソン大会で見た太陽からの奇霊的メッセージを語るかのように、武道体術の奇源について、私の筆が歩み始めました。皆さんもご存じのように、私は神武天皇が祭られている奈良県橿原市にお住まいになられていた高松先生から九つの流派の武風を継承させていただきました。そして、昭和三十四年（1959年）頃からだったでしょうか、私が日本でただ一人の忍者としてマスコミ界に登場ということになり、以来三十六年、忍者的武道で一貫いたして来ましたが、これでは武神館が世界的になった今日、影の武風で吹きぬげるだけのことになりますので、神伝不動流、九鬼神流、高木流、玉虎流、虎倒流、義鑑流、戸隠流、雲隠流、玉心流の九流派の総景をツーソン大会の大空で見た太陽の聖なる和にちなんで、これらを総称して「武道体術」と命名することにいたしました。



1995年5月、ツーソン大会  
「聖なる和」

先ず体術の歴史を振り返って見ましょう。人類が術や技、そんなものを自覚しない時代は腕力が伴うぶつかりあい、組討ちで戦ったのでしょう。動物の戦う様子を見てもうなずけます。以来、棒という武器、石投げという本能的闘争の時代から徳川時代になると人間が使う武器の技術も百二十通り以上にもなりました。そして徳川末期頃には武道の流派も三千以上分派されました。体術の呼名も時代によって、また地方々々によって違いがあります。現代人がいう格闘技、マーシャル・アーツも昔は組討ち、打拳術、打拳体術、骨指術、骨法術、忍法体術、柔術、柔体術、やわら、拳法、唐手拳法、琉球拳法、天狗飛切術、etc. と呼ばれました。

そして私がここ数年、武器と体術について指導しております。これは武道家にとって最も大事な修業季に入ったということです。この武器を使う、体術を使う、この時の體の変化が奇蹟的現象を現すという真実の師伝があるからです。現代風とでも言いましょうか、この武風を知らぬ愛好家は初段を取るためには、何級はこの技、何級はあの技と言って級や段を与えることが武風であると錯覚して教授しております。これは私に言わせると大変な間違いをしているということです。例えば、ひとつの技「表逆」をとってもそうでしょう。級の人、初段の人、十段の人によってもその上手下手は大きな差があるものです。こう考えると単位制度の愚かさがわかると思います。しかし、修業者にとって初段位までは、何段までは、どの程度までマスターしたら良いかという基準・標準だけは、修業者の過程において必要ですので、その点をよく認識し理解して、段級の本質を断定していただきたいと思います。

と暮し空間の構とするも、東洋的平行意識を表わすものなり。



# 悟 初 身

正  
眼



## 構 (かまえ)

九つに分類されているが、この九つの九を数字の九数とってははいけません。古来より九とは最強に強い数字とされているということ故に、誰もが武門を叩くとき強くなりたいという初心を表わす数字と違って下さい。構も武風一貫することにより、武風の認識を養い、武道家としての心構を第一にとることに一貫することです。

### <九構>

武道家としての最高の心構ともいう。

#### (1) 自然の律法の構

上、中、下段の構あり。

上段、中段、下段、天地人略の構ともいう。



#### (2) 不動坐

(イ) 左構

(ロ) 右構

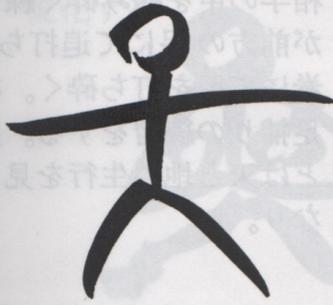


左右の組み合わせによる違いあるも、坐とは金剛不動の精神を第一としたる心構なり。

(3) 平一文字の構

(イ) 左右六法の構あり

(ロ) 鷹の構



と称し空間の構とするも、東洋的平行意識を表わすものなり。

(4) 一文字の構

(イ)

(ロ) 左右の構、三段の構

上段、中段、下段とす



上段とは直立、中段とは(イ)のごとく、下段とは左または右の伏虎潜型。膝を地上につけることにより変化潜型の虚実の構との相手の心気の直線を避ける、避け流す構なり。

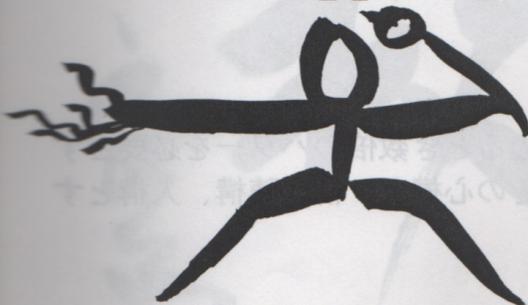
(5) 怒虎の構

(イ) 左右の構

相手眼遺遠当のこと

(ロ) 上段、中段、下段あり

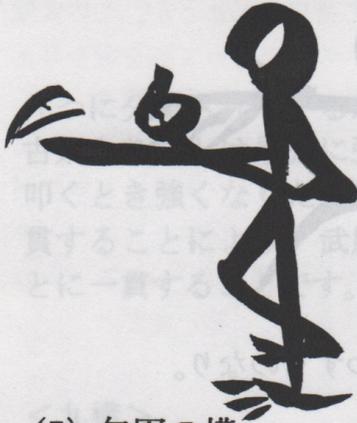
その体変術



我が怒り虎の如しなるも、虎の怒りとは何かを自覚する覚悟の構なり。

(6) 飛鳥の構

(イ) 左右の構



(ロ) 相手の技を殺す練習のこと。相手の甲を踏み砕く練習。我が前方の足にて追打ち我が手拳にて甲を打ち砕く。相手の足捕りの練習をする。足捕りとは天と地の生行を見ることなり。

(7) 包圍の構

(イ) 六法あり。

(ロ) 図の構。

(ハ) 体変術、特に横歩き体変を加える。蟹歩きというも、敵の動きを包む、また我が動き相手を包込み囲む構ともいう。



(8) 攻勢の構

(イ) 左右の構

(ロ) 上、中、下、三段の構とす



攻撃は最大の防御というも、城構を攻めるとき数倍のパワーを必要とする理を知りたる法定の構を知ること、その心構より構、陣構、人構とすべきなり。

(9) 十文字の構

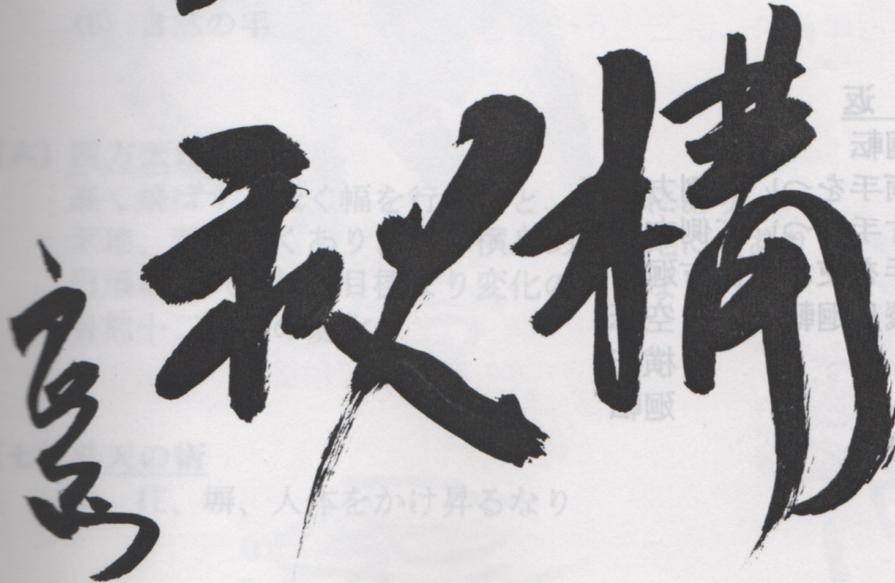
(イ) 左右中心の三つの構より  
変化する

(ロ) 上、中、下、三段の構とす



十字、敵と和するか、我が倍する利あるや、その心見る構、護身やむなく生を求める構なり。九字を許すも、十字を許すなのたとえ悪逆の構ともい

この九構の真理をよく把握して型より無（心）を大秘とすべし。



(6) 飛鳥の構

## 受身型体変術

九構より受身型体変術を行なうものなり。

### <空変の型>

#### (一) 体変受身型

前返り

前方廻転

- (1) 両手をついて前方廻転
- (2) 片手をついて前方廻転 左右
- (3) 手を使わず前方廻転
- (4) 飛鳥廻転 両手づき
  - 空転 — 両手をつき前方  
片手をつき前方
  - 横転 — 両手をつき横転  
片手をつき横転
  - 廻転 — 飛び廻転

(5) 自然

#### (二) 横返

左右廻転

- (1) 両手をついて側方廻転
- (2) 片手をついて側方廻転
- (3) 手を使わず側方廻転
- (4) 飛鳥廻転 — 空転  
横転  
廻転

(5) 自然

拳十六法

翻行巻 (八)

(三) 後返し

後方廻転

- (1) 両手をついて廻転
- (2) 片手をついて廻転
- (3) 手を使わず廻転
- (4) 飛鳥廻転 - 空転

巻返早心早 (I)

行巻土米 (S)

巻の音兼 (E)

水飛雲行然自 (J)

横転

廻転

(四) 前方受身

- (1) 膝立位 両手前方受身
- (2) 片手前方受身
- (3) 立位前方受身 両手
- (4) 受身より突き蹴り
- (5) 自然

(五) 流水

- (1) 垂流 (すいりゅう) = 立ったまま立に流す
- (2) 左横流水
- (3) 右横流水
- (4) 巴返し
- (5) 車返し
- (6) 自然の手

(六) 四方天地飛び

高く飛ばず、低く幅を行くこと、四方にあり  
 天地、天は高くあり、天に横身あり、地に逆あり  
 円飛あり (これは目標より変化の練習なり)  
 自然十二支行の変化

(七) 昇天の術

木、柱、塀、人体をかけ昇るなり

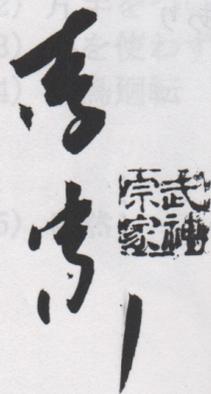
(八) 歩行術

- (1) 早心早速法
- (2) 氷上歩行
- (3) 無音の法

(九) 自然行雲流水

何故ここに自然行雲流水を加うるか、(一) から(八)までの体変受身型、自然たるためなり。

受身というと、柔道や合気道のような怪我をせぬような!! という感覚の受身にあらず、受けてたつ身、護身の受身と知るべし。即ち、受身の本質を把握することである。受身は護身である。護身には避けるカウンター、攻撃手ありということの真理的格闘の姿の自然を見つめて受身の本質に迫ることである。空変の型とは、自然の極まりなき姿を称するものであり、生きるための自然の受身体変術といっても良いであろう。



拳十六法

<拳>

(1) 鬼角拳

前頭部を用う、後頭側部を用うことあり。

(2) 手起拳

肘関節を用う、肘関節を多方に用う。一応六法それに両手起拳練習。

(3) 不動拳

親指外に握りし拳。

これはやはり多法に用うるものなり。

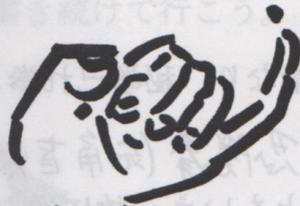


(4) 起転拳

手刀半開き、骨指術の秘拳ともいう。多法。

(5) 指針拳

小指を用う。

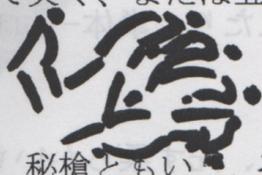


(6) 指端拳

三指を用う、三指一突踊拳ともいう。三指、午角拳あり。四指を用うるもあり。即ち拇指、即ち小指。

(7) しゃ蝮拳

五指を用いて突く、または五指にて碎拳を変化する。手掌にて打つ変化。

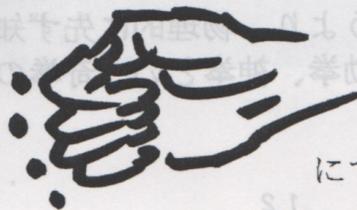


(8) 指刀拳

拇指を用う、秘槍ともいう。



(9) 指環拳



にて突く。

(10) 骨法拳

(八) 歩行術

(1) 早心早速法

(2) 水上歩行

(3) 無音の法

拇指関節用う。

これは拇指関節より指刀拳として変化の練習のこと。

(11) 八葉拳

両手掌、八葉より仁王拳の練習。仁王拳より八葉拳への変化の練習。

(12) 足躍拳

主として足踵、足裏を用うるも足関節を中心に自由に使う拳なり。万化先ず八法蹴り、飛鳥蹴り練習のこと。

(13) 足起拳

膝を用うる、膝を中心の拳なり。万化飛鳥蹴りも練習のこと。

(14) 足逆拳

足指を用うるなり、飛鳥蹴りの練習のこと。

(15) 体拳

これは体にて打ち砕く拳なり。秘拳己れ拳となりの悟りの拳なり。

⑩ 生拳 (正義の拳) 忍隠拳 (死角盲突拳) 妙拳 (明拳)

十六数は凶を吉に一変する数ともいえ、故に拳を用いる時にこの理を悟るべきことである。古伝には：

「拳は先ず正しく急所に当てる稽古より始まり、拳の変化、拳体一致の意を悟る。これは躰構の心項にて熟達すべきものなり、古来にては柱に藁を巻きその上に布を巻いて拳を鍛えたり。拳体一如我れ拳となるを得るべし。」

とありますが、拳を鍛える心得として、先ず柔らかいものに拳を打ち鍛えて行くことから始め、しかる後に拳より固きもので鍛える人体の妙を知ることであり、と同時に標的を知り、己れの錬拳を知り、その合する所の、またいう真理を悟るといふより、物理的に先ず知って一貫、しかる所に一貫する所の金剛拳、不動拳、神拳という奇拳の生ずること自然拳を秘とすべきなり。

先師、高松先生の手指は猛獣の如き強拳たりといえども、我れに師伝する「初見はん、実戦のときはな！」と口にくわえた煙草のパイプで突きを見せて下さった。実戦拳の歴史的事実を大秘とすべきであろう。次に拳の強弱を自覚し、拳の虚実転換の練習をすることが秘となってくる。例えば、不動拳から指刀拳に、指刀拳から起転拳へ、そしてしゃ蛄拳へ、しゃ蛄拳五指拳立て拳から手掌拳へというように、拳の変化を訓練することにある。健康のためには小石を二つ持って五指を動かし、手掌の中で廻すことを常に心掛けること、これも養生拳のひとつである。

武道体術の構、受身体変術、拳十六法について説明したが、私はあえてこれらに写真説明とか、細々と説明を加えないことにした。何と云っても武道は良師について心体全体で我が弱体、愚体に正しく導入するより他ないのである。そして、自体の弱愚なる物質を自覚して、それらを捨て去るその努力と勇気が必要である。弱愚を捨てた所に真の武心が入魂し、武身、武体となり、武妙の人間を見ることができるようである。重ねて武神館武道修業者にいおう、「武道を人生の心の宝とできぬ者は武神館の武道を止めるべきである。」  
次号より体術について書き続けて行こう。

平成七年七月七日

宗家 初見 良昭  
寿宗



## 以 心 電 信

城雲図・勉、イギリス

今日は、ozaru@spuddy.mew.co.ukです。見たことのない人にとってはこういう名前は馴染みがたいでしょうが、パソコン通信に慣れていればすぐ分かります。要するに、英国（uk）の会社（co）を通してインターネット（国際コンピュータ網）に接続している人で、ニックネームは大猿だということです。最近インターネットに関与している武神館の門人も大変増えています（中には山脈の支局長も何人かいます）。

皆一体何のためにパソコン通信をしているのでしょうか？理由はいくつかあります。先ず「私はロサンゼルスに引っ越したばかりだが、近くに道場はあるか？」、あるいは「今年の大会はどこだ？」というような情報を求める人がいます。武神館外の人が「忍者は本当にいつも黒装束を着ているのか？」、「槍対剣ならどうする？」などと、本や映画で得た情報を実際に修行している人に尋ねる目的で通信する人もいます。そして「空手は忍術より強いんだ！」というように、自己主張したり、議論したりする人もいます。

インターネットの一番大きな利点は、同じメッセージを何十万人にも迅速に、かつ同時に送ることができるということです。しかし一番不利でもあるかもしれません。というのは、誰もが発表する場を与えられたら、内容の真偽を弁えるのは難しくなり、内容の質も全体的に落ちてきます。十年前のインターネットは学者しかアクセスできなかったもので、議論のレベルも非常に高かったようですが、今はつまらない口喧嘩のように成り下がるところもかなりあります。



リバプールにて

私は最初にアクセスし、忍術や武神館はどれだけ誤解されているのかを知ったとき、「万変不驚」と心に念じていても実際に大変驚きました。平常、武神館外の人とも話し合ったりしているつもりでしたが、それでもあまりの敵対心で圧倒されました。今は幸運にも本当の武神館を知っている人は増えてきていますので、誤解は少しずつ解けてきているように見えますが、自覚するという意味でとても有意義な体験だったと思います。

そもそも忍者は情報を操るのが主な仕事でした。そう考えると、現代に生まれた忍者もインターネットのような手段を大いに駆使したに違いありません。これから世界中が益々情報化社会になっていくはずですので、自分を守るという意味でもこういう技術を理解し、操れるようになる必要があるのかもしれない。かといって、目的は決まっていないので、遠い外国の武神館メンバーと個人的な雑談を交わすのが楽しいからそれだけにでも利用する価値はあると思います。

もし読者の中にインターネットに接続できるがどのように活かしたらいいのか、どうやって他の門人と連絡をとれるのかなど分からない人がいましたら、どうぞ私宛にEメールを下さい。ユーズネット、忍術リスト、ワールドワイドウェブなど、できるだけ案内して差し上げます。



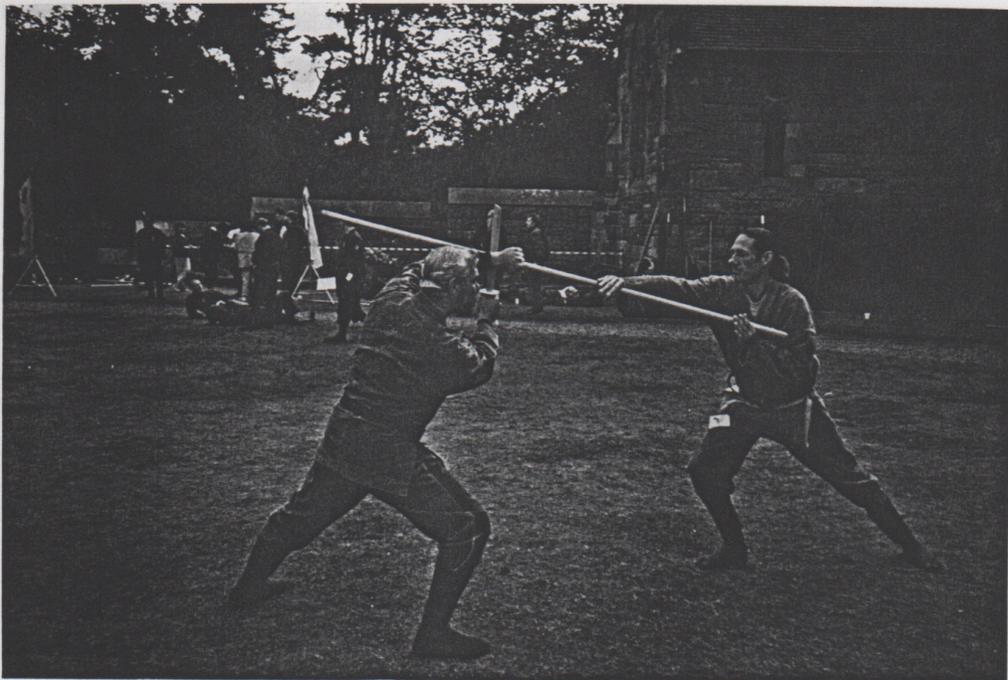
## チェスター大会にて

ペドロ・ゴメス、8段  
スペイン

1994 UK、チェスター大会に参加致しまして、技を学べたことはもとより、先生はじめ多くの方々に再会でき大変嬉しく思っております。日本でや、数々の大会で、またはカナリア諸島で開催されましたインターナショナル・コースでしばしばお会いしましたピーター氏、アルノー氏、リチャード氏、エンゾー氏またその他士道師の方々、文通はしておりましたものの長い間離れておりました。アビガイル氏やケビン氏などにお目にかかれまして、多くの方々とも親睦を深めることができましたことは、大きな喜びでございました。更に、イギリス訪問は今回が初めてでしたが、大会期間以外にアルフレード・カスタン氏がお宅に1週間泊めて下さり、氏ご自身、ご家族、お弟子さん達には多大なご配慮を頂きまして深く感謝しております。

今大会は私にとりまして特別なものでありました。海外で開催され、私は英語が不得手ですので、技だけでなく、先生の教えを理解するのに全身全霊を傾けておりました。教えは少々難しかったのですが、大変感銘深く、今後の忍法の大会に向けて勉強させて頂きました。

技に関しましては、実戦的でなおかつ芸術的なものであったと申し上げずにはおれません。多くの方は大会に出席して知識としてわかっているはずですが、もしこの技を身をもって理解し吸収しようとするのなら、何年もの訓練と研磨が必要だと実感致しました。



ペドロ・ゴメスさん（スペイン）とケビン・ミレスさん（USA）、チェスター大会にて

ところで、今大会におきまして多分一番意味のあったことは、ある一定のスペースで実施されたという点だと存じます。会場は広がったにもかかわらず、多勢の人や槍、棒、木剣や小太刀を使った訓練で、結果的に狭くなっており、大事には至らなかったものの殴られた人も幾人かありましたように、怪我人のでる可能性もあり、まるで戦場にいるような印象を受けました。しかし、先生の教えを受けている私達は、数々の大会で繰り返されているこの状況に油断せずにいるという特別な意義を見出しております。

殺気テストは感動的でありました。私が今までに出席致しました他のケース同様に合格した日のことを思い出し、初見先生や武神館先代の先生方と私のつながりが更に深まったと感じました。日常生活で大変な時には勇気と力を与えてくれ、精神的にとっても身近に感じておりますので、今ここで一人でおりましても遠く離れている気が致しません。

このようなことから、忍法とは武術を超えた何かがあるのでしょうか。最終日の稽古後、先生は私達士道師を招かれ感想をお尋ねになりましたが、私は以下のように申し上げたと記憶しております。

「何年も前から、日本でや様々な大会で先生にお目にかかっておりましたが、その度ごとに新しい技と観念にハッとさせられて参りました。しかし、私がこの大会に関して強調したい点は、武神館の精神は広まりつつあり、そして、初見先生のお教えは世界中の隅々にまで行き渡りつつあるということです。このことは私達が習い訓練できるすべての技よりも大切なことです。」

最後に大会とは先生が伝えて下さる知識と精神を習い、吸収し、そしてそれを日常の中で実践し、また同時にそうしたいと願っているような精神的に豊かな人々に伝えてゆくためのものであると付け加えさせていただきます。

## 山彦

この大会には22ヶ国500名余の参加者がありました。



アーサー王と王姫に扮装した宗家御夫妻  
チェスター大会（UK）のパーティにて

## ドイツのシュテッフェン・フレイリッヒ 夫人からのお便り

初見先生へ

前略

1994年は過ぎてしまいました。私にとって、この一年は「武神館」の年でした。フランクフルト・アム・マインでのドイツ大会の準備から始まりましたが、これは私にとって、私の人生にとって、そして夫や他の人達との関係にとっても、表現できない価値を持った仕事・経験でした。信じられないほど緊張していました。大会を初めて準備する人は皆同感でしょう。空港で宗家が私達に挨拶したときにその緊張感は解けたのです。「あの人」は来ました。私は泣きました。その次の日々は私にとって神からの贈り物のようでした。3人の日本人が、夫により武神館に付属している私までも、与えてくれたこの暖かさとシンプルな付き合い方は、私にどれだけの喜びと内なる静けさ、そして正しい道を歩んでいるという自信をもたらしてくれたことか！ その後も私の人生に影響を及ぼしています。



フランクフルト大会を大きく支えた  
ザビーネ・フレイリッヒ夫人と宗家  
夫人、フランクフルトの街角で



俳優のマリオドフ氏と  
ケンピスキホテル前

そしてこういうイベントでできる世界中の人との友人関係。16ヶ国の人 came のです。それぞれ考え方が違ったり、個性があったり、入り用が違ったり、そしてもちろん言葉も違ったりしていましたが、宗家の御蔭で皆地球に、よりたくさんの平和と友情を求めていました。私はすべての参加者に対して公平に対応したつもりですが...。その中で皆が持ちよった信頼も本当にありがたいものでした。ここで城雲図・勉さんにも特に感謝の意を表しなければなりません。この手紙も訳してくれているので読むと思いますが、私は心の友を見つけました。

その後、スヴェネリックさんとの11回目の忍者フェスティバルがありました。これはもうドイツ語圏の門人にとって伝統的な集まりになっています。武神館の精神で、夏休み用キャンプ場で1週間の稽古と休暇です。スヴェネリックさんのことを文字で書く必要はありません。彼を知っている人なら、私の彼に対する熱狂は感じるでしょう。奥さんは幸運ですね。

そしてその後、日本の天皇・皇后両陛下がフランクフルトご訪問の際にお姿を拝見することができました。宗家のホテルに泊まったのです。私の心はまた踊りました。

年の最後にはヴォルフガング・エティグ士道師が私達の道場で素晴らしいセミナーをやってくれました。これで武神館ファミリーの友情と統一性がまた立証されました。

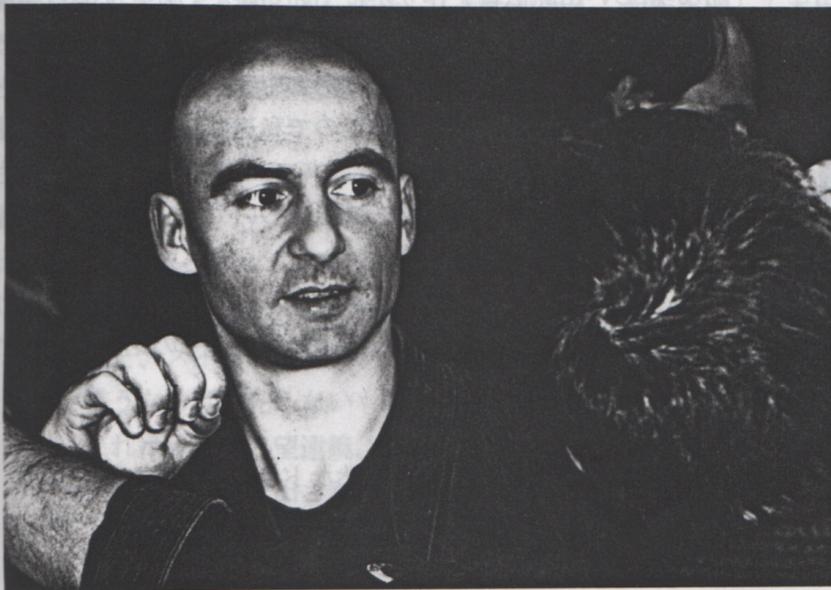
こういう年がたくさん来るといいです。

私は既に1995年をととても楽しみにしています。フランスのベルナー・ボルダスさんとカナリアスのペドロ・フレイタスさんにここに来てもらいます。そして宗家とはツーソンで再会できるかもしれません。

ドイツより愛を込めて、

草々

ザビーネ・フレーリッヒと家族より



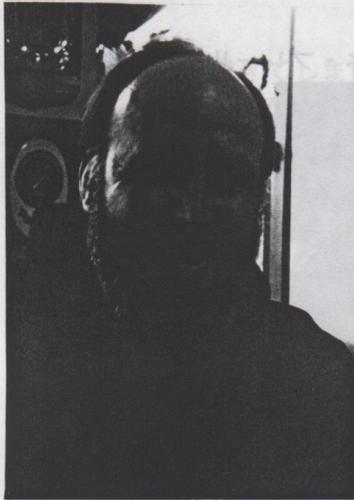
ベルナー・ボルダスさん  
9段、フランス  
フランクフルト大会



1961年11月3日  
皇太子様（現天皇様）  
に忍術について御進講  
申し上げる宗家

## 宗家と虚実転換

ジョン・ケントール、五段  
武神館北大阪道場



ジョン・ケントール  
五段

私と友達が初見先生の家を訪れたのは、先生と二人の弟子が新しい山脈伝書を作りかけている時でした。先生は金曜日の稽古で多分お疲れだろうと思い、私達は少しだけ訪ねるつもりでした。でも私達が山脈伝書を買った後で先生が「どうぞ坐って下さい」と言われたので私達は驚きました。先生はお茶を飲みながら虚実転換について二時間お話をして下さいました。そして先生が「この話について感じることを伝書のために書きなさい」と言われました。私と友達の日本語はまあまあですけれど、先生のおっしゃっていることは分かりました。私はこの文章を通して武神館の弟子のために先生の伝言を書きます。

虚実転換は生活のための自然なドライブ権力です。宗家は稽古の間にこの自然なパワーを巧みに扱われます。そして、

弟子はそれを先生と稽古する時に感じます。宗家の生命力で虚実転換のエネルギーは弟子に伝わります。このため稽古の後で弟子の精神は伸びます。先生が教えておられる哲学は虚実転換に関係します。先生は度々五段以上の弟子に「私の変化を覚えることはできないはず」と言われます。たいてい弟子は五感を使って努力をするのですが、大事な要点が見えません。弟子は練習する間にちょっと分からなくなります。

先生は宗家として変化を空から創られます。それから弟子に教え、弟子は稽古します。空の中に虚実転換は存在しているので、宗家の変化を一回みせると、弟子はそれを感じ取りたいと願います。こういうわけで先生は「Play」とおっしゃいます。もし弟子が間違えると先生は虚実の感じを繰り返して下さいます。しかし先生はいつも少し違います。虚実転換の形は円でそのエネルギーは常に変化します。そして宗家は虚実転換のパワーを巧みに扱いながら万の変化を利用することができます。虚実転換の文字から「真実」と「虚言」を見ることができ、先生は稽古の間に時々弟子に「見えない」とおっしゃいます。先生は両方を使い、弟子は五感を使うのですが、大事な要点がまるでわかりません。

弟子は宗家の稽古に来ると、宗家の創造力に連結します。この感覚をビデオから受けることはできません。初見先生は「ビデオは稽古のコマーシャル」と語られます。五段以上の弟子はビデオを見た後に練習をしたくなります。しかし、コピーはコピーするしかありません。例えば、どんな芸術家でもピカソの絵そのものをコピーすることはできますが、ピカソの創造力を感じ取ることはできません。しかし、ピカソ本人に会えば多分彼の創造力を感じることが可能でしょう。ピカソの技術と初見先生の技術も同じことが言えるのではないのでしょうか。

宗家は天国と人間の間が存在しておられます。先生を通じて天国と人間の間関係があります。宗家の技術は虚実転換の円エネルギーを秤で計ることであり、弟子は稽古を通じてそれに触れ、自分の技術を生活の中に応用して行くのです。

8-80) 軍文堂奇賞社主式雅大童山小るあや問願の愚直誠特気  
9-905年身/0が球出多 1 秘露風宗吉 英國め 水0 丘み 17-04-8-2

### 山彦

「芸術とは目に見えるものを写すことではない。見えないものを見るようにすることなのだ」と、スイスの画家クレーが言っています。まさに、マーシャル・アーツも「芸術武芸」と言うならば、見えないものを見る心眼力を養うことがいかに大切かわかることと思います。これはカメラ、望遠鏡、顕微鏡などのレンズと思うと、一つの見えない映像が自分のボディのどこかに写し出されてくるものです。



## 吉宗風雲録

武神館道場の顧問である小山竜太郎先生が廣濟堂文庫（03-3584-7610）から「吉宗風雲録」を出版なさいますので、御一読下さい。

尚、小山先生は「真説日本剣豪伝」「真説日本忍者列伝」「真説忍者と忍法」「徳川家康に学ぶ」「南北朝太平記」など、多数出版なさっております。

五段

弟子はそれを先生と稽古する時に感ずる。宗家の生命力で虚実転換のエネルギーは弟子に伝わります。このため稽古の後で弟子の精神は伸びます。先生が教えておられる哲学は虚実転換に関係します。先生は度々五段以上の弟子に「私の変化を感じることはできないはず」と言われます。しかし弟子は五感を使って努力をしますが、大事な要点が見えません。弟子は稽古を繰り返すと分らなくなります。

先生は空気のしる変化を空から感ずられます。それから弟子に教え、弟子は稽古します。空の中に虚実転換は存在しているため、宗家が変化を一回みせると、弟子はそれを感じ取りたいと願います。こういうわけでもち「ドゥー」とおっしゃいます。もし弟子が間違えたと先生は虚実の感じを繰り返して下さい。しかし先生はいつも少し遅い。虚実転換の形は何でそのエネルギーは常に変化します。そして宗家は虚実転換のパワーを巧みに扱いつつながら万の変化を利用することができます。虚実転換の文字から「真実」と「虚言」を見ることができ、先生は稽古の間に時々弟子に「見えない」とおっしゃいます。先生は両方を使い、弟子は五感を使うのですが、大事な要点がまるでわかりません。



# BUJINKAN TOKYO BUDOKAN DOJO

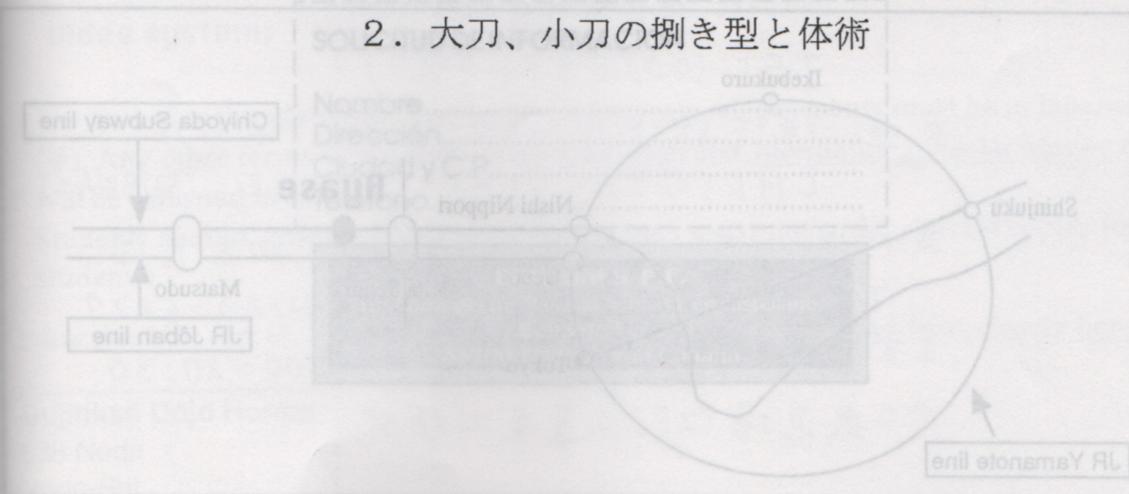
1996年 スペイン、アリカンテ大会のお知らせ

## 1995年日本大光明祭セミナーのお知らせ

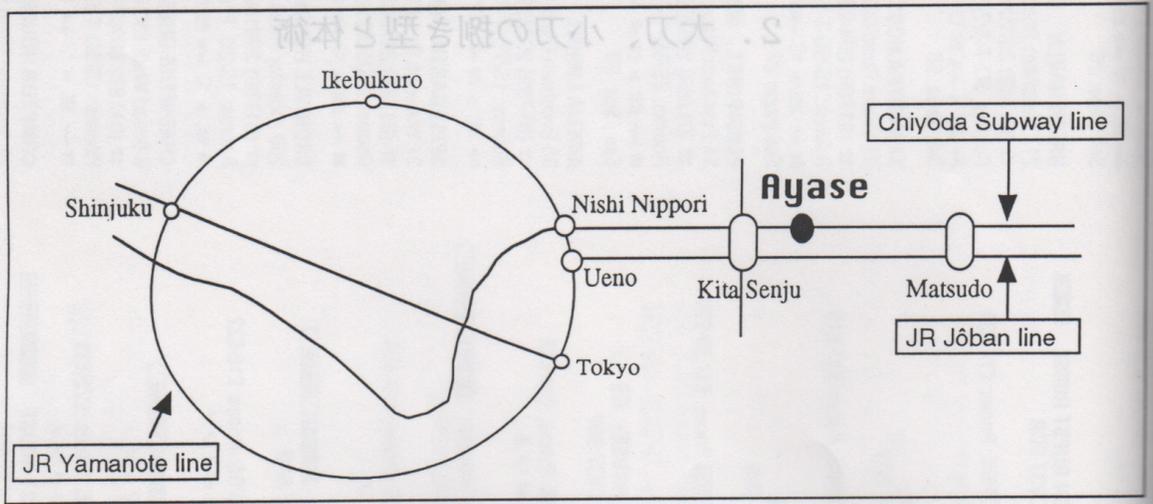
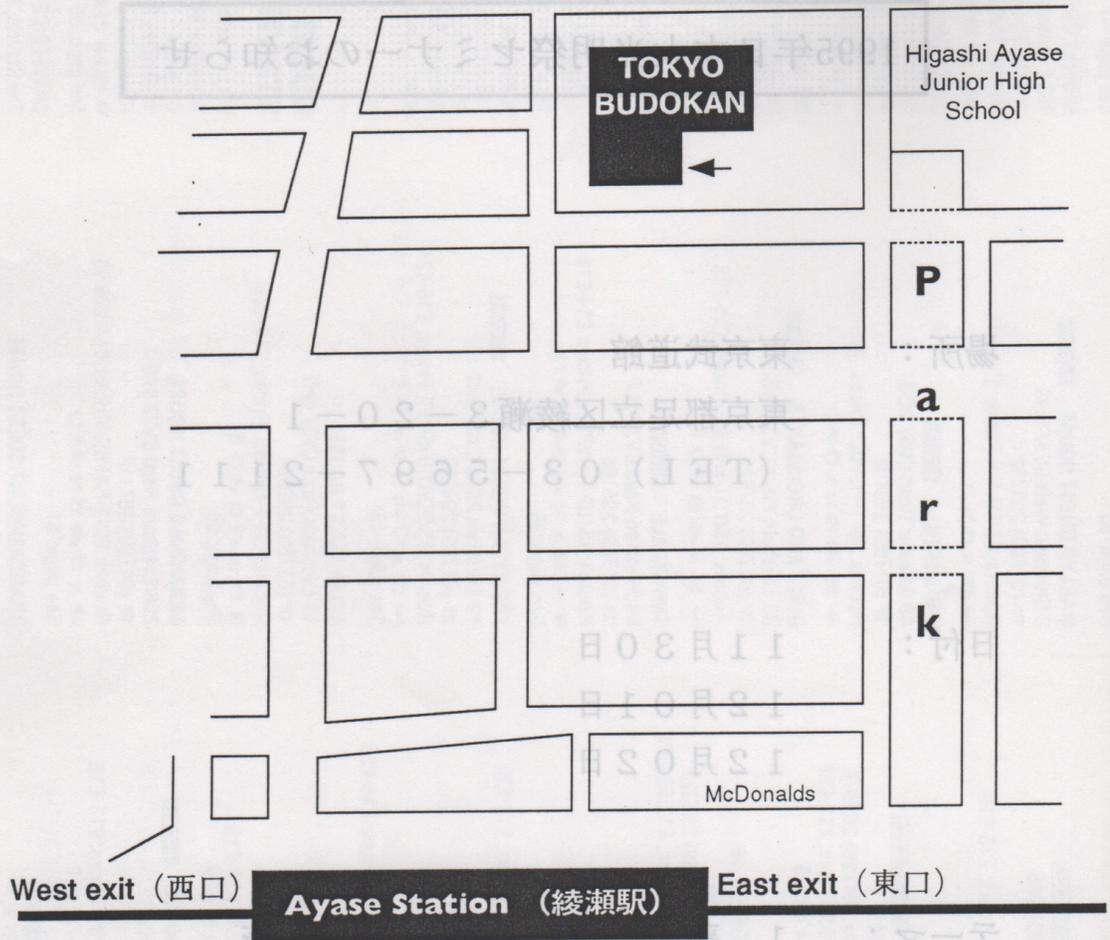
場所： 東京武道館  
東京都足立区綾瀬3-20-1  
(TEL) 03-5697-2111

日付： 11月30日  
12月01日  
12月02日

- テーマ： 1. 薙刀、長巻、眉尖刀術と体術  
2. 大刀、小刀の捌き型と体術



# BUJINKAN TOKYO BUDOKAN DOJO



# Bujinkan Video Order

武神館ビデオ注文書

1996年 スペイン、アリカンテ大会のお知らせ



## TAIKAI ALICANTE

1.996

OCTUBRE 5,6 y 7

### INFORMES:

José M<sup>º</sup>. Conejo y Julieta Laorga  
Avda. Alicante 2, Esc. 1 Entlo P.4  
03203 Elche - Alicante  
Teléfono: 96 5453859.  
Fax: 928 68.04.64(indicar Taikai Alicante)

### SOLICITUD DE INFORMACION

Nombre.....  
Dirección.....  
Ciudad y C.P.....  
Teléfono.....

### EDICIONES P.F.

Tus libros del Dr. Masaaki Matsumi en castellano.  
C/ Eduardo Dato, 9  
35200 Telde / Gran Canaria

Bujinkan Dojo Honbu  
636 Noda  
Noda-Shi  
Chiba-Ken 〒278  
JAPAN

1995年

武神館東京武道館道場予定表

A; 入口側半面  
 二; 第二道場 大; 大道場

月	日							
7	4	7 <sub>二</sub>	11 <sub>大</sub>	14	18	21	28 <sub>二</sub>	
	TUE	FRI	TUE	FRI	TUE	FRI	FRI	
8	4	8	11 <sub>二</sub>	15	18 <sub>二</sub>	22	25	29
	FRI	TUE	FRI	TUE	FRI	TUE	FRI	TUE
9	1	5	8 <sub>二</sub>	12	19	22	26 <sub>大</sub>	29
	FRI	TUE	FRI	TUE	TUE	FRI	TUE	FRI
10	3	6 <sub>大</sub>	13 <sub>二</sub>	17	20 <sub>大</sub>	27	31	
	TUE	FRI	FRI	TUE	FRI	FRI	TUE	
11	3 <sub>二</sub>	7	10 <sub>二</sub>	17	21	24	28	
	FRI	TUE	FRI	FRI	TUE	FRI	TUE	
12	5	8 <sub>大</sub>	12 <sub>大</sub>	15	19 <sub>二</sub>	22 <sub>二</sub>		
	TUE	FRI	TUE	FRI	TUE	FRI		

West exit 場所 東京武道館 TOKYO BUDOKAN

東京都足立区綾瀬 3-20-1

TEL (03) 5697-2111

交通 地下鉄 4代田線「綾瀬」下車徒歩5分  
 CHIYODA LINE 「AYASE」(SUBWAY)

武神館本部道場事務所 泉家 初見良昭  
 TEL (0471) 22-2020 FAX (0471) 23-6227

自主け11: 17:00~19:00 け11: 19:00~20:30

第二武道場(2F)は秦足で使用。

JR Yamanote line

# Bujinkan Video Order Form

## 武神館ビデオ注文書

No.	Video Title	No. of copies	Price each (Yen)	Total price
1	Koto Ryu Koppo-Jutsu 虎倒流骨法術		7200	
2	Takagi Yoshin Ryu Jutaijutsu 高木揚心流柔体術		7200	
3	Kukishinden Ryu Yoroi Kumiuchi 九鬼神伝流鎧組討		7200	
4	Gyokko-ryu Kosshijutsu 玉虎流骨指術		7200	
5	Togakure Ryu Ninpo Taijutsu 戸隠流忍法体術		7200	
6	Shinden Fudo Ryu Daken Taijutsu 神伝不動流打拳体術		7200	
10	Kukishinden Ryu Hanbo-jutsu & Shikomi-zue 半棒術、仕込み杖		7200	
11	Ninpo-Masaaki Hatsumi's Video Dojo 忍法・ビデオ道場		7200	
12	Bugeisha no tame no Jutte-jutsu 武者のための十手術		7200	
13	Ninja Biken 忍者秘剣		7200	
14	Daikomyosai Bujinkan Kokusai Seminar 1 国際セミナー 1		5800	
15	Daikomyosai Bujinkan Kokusai Seminar 2 国際セミナー 2		5800	
16	Rokushakubo-jutsu 六尺棒術		7200	
17	Daikomyosai Bujinkan Kokusai Seminar 3 国際セミナー 3		5800	
18	Daikomyosai Bujinkan Kokusai Seminar 4 国際セミナー 4		5800	
19	Mutodori 無刀捕		7200	
20	Shinken Shirahadome 真剣白刃止		7200	
21	Gyokko Ryu Bojutsu 玉虎流棒術		5800	
22	Sabaki no Bojutsu 捌きの棒術		5800	
23	Kasumi no Bojutsu 霞の棒術		5800	
24	Sohjutsu (Yarijutsu) 槍術		7800	
25	Yari & Kodachi Part 1 槍小太刀 上巻		5800	
26	Yari & Kodachi Part 2 槍小太刀 下巻		5800	

TOTAL 合計 ￥

Video system: NTSC  PAL

The cost of each video includes postage & packing. All payments must be in Japanese Yen (¥). Any other forms of payment other than cash and International Postal Money Orders will be returned to sender.

Students should order individually (i.e. teachers must not order several copies for their students).

Orders should be sent to:

Please print your mailing address clearly here

**Bujinkan Dojo Honbu**  
636 Noda  
Noda-Shi  
Chiba-Ken 〒278  
JAPAN

TEL 0471 (22) 2026  
FAX 0471 (23) 6227

\* 許可なくして複製

編 集 部

〒278 千葉県野田市野田636 TEL: 0471 (22) 2020  
武神館本部道場事務局

相談役 林 靖之  
編集長 岩田喜雄  
編集員 久保延子

武神館伝書 「山脈」 第八号

平成七年七月七日発行

発行者 初見 良昭

発行所 武神館道場

千葉県野田市野田636 〒278

TEL 0471 (22) 2020  
FAX 0471 (23) 6227



\* 許可なくして複製・転載を禁ず

